

第 10 分科会

社会と融合する大学教育のかたちを考える

分科会概要：

日本が直面する現代の社会課題に、少子高齢化に伴う生産人口の縮小、それに伴う国際競争力の低下や産業・就業構造の総体的な劣化、地方と都市、社会・経済格差の拡大などがある。地域再生と生涯学習の基盤となるべく、大学教育に寄せられる期待は大きい中で、「社会に開かれた」「社会と併走する大学」の具体イメージは像を結んでいない。

具体的な産学連携だけでなく、産官学民連携でこれらの課題に挑戦するためには、従来型の企業内研究者（ハイ・タレント・マンパワー）の育成だけでなく、人材離散型の研究・教育システムの運用が必要となるだろう。本分科会ではそれらの未来について、実践事例を通じて検討してみたい。

<プログラム>

- 9：30 趣旨説明 「大学発ベンチャーの現状と課題ー社会化する大学の現在ー」
同志社大学 文化情報学部 准教授 津村 宏臣 氏
- 9：50 講演 1. 「フィールドミュージアムを通じた大学教育と社会実践の“かたち”」
京都外国語大学 国際貢献学部 教授、
NPO 法人フィールドミュージアム文化研究所 代表理事 南 博史 氏
- 10：20 講演 2. 「技術研究開発企業の“かたち”からみた大学・学会など学術界の風景」
東北電子産業株式会社 東京支店 支店長 佐藤 哲 氏
- 10：50 講演 3. 「測量・資源調査企業と大学教育、研究支援の“かたち”」
株式会社相互技研 京都事務所 所長、
同志社大学 文化遺産情報科学調査研究センター 副センター長
渡邊 俊祐 氏
- 11：20 質疑応答